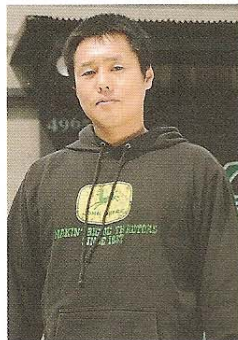


クーペスタイリングに一目惚れ 長く乗るためにがんばる

クーペのボディラインが決め手となって購入した阿部さん。328のパフォーマンスは走りも楽しめるということで、長く乗り続けることを決めている。ポイントは足下に組み合わせるAT1のホイール。元々シルバーだったものを、リペアをきっかけにガンメタにペイント。これによってスタイリングが引き締まったと、かなり満足な様子。最近ではバウステポンプからの異音が気になり始め、今後は長く乗るためのリペアに力を注ぐということだ。



車体やスタイリングは満足しているものの、やはり経年による各部の劣化やマイナートラブルが気になるといふ阿部さん。



足下にはAT1のレンを装着。ガリ傷のリペアを兼ねてディスクをガンメタでペイントし、イメージチェンジを図る。



ナビゲーションにはカロッツェリアのインダッシュモニターをセット。1DINスペースを有効活用できるユニットをチョイス。

SPECIFICATIONS

●エクステリア カーボングリルカバー、カーボンボンネットパッチ ●オーディオ ナビゲーション:カロッツェリア ●足まわり 車高調:D2レーシング ●ホイール AT1・レン(8.5X19) ●タイヤ トーヨー・プロクセス T1R(235/35)

通勤のアシ車として購入も 各部をバージョンアップ

サウンドコネクションのインストーラーでもあるヒデキさんがオーナーのE39。通勤のアシとして購入したもののノーマルという状態はあり得ず、足まわりの加工をはじめ、AGIOの20インチなどで各部をアップデイト。グリルや窓枠のメッキ部分はすべてブラックアウトし、エクステリアの印象を大きく変えている。さらに天井の汚れが気になったということで、全面を張り替えるなど、職業柄を反映した仕様となっているのは見て分かる通りだ。



本来はアシ車として購入したというヒデキさん。カスタマイズのプロらしくノーマルではなく随所に独自のセンスを反映している。



リム&ディスクともにブラックで引き締めたAGIOの20インチ。サスペンションは純正を加工して装着。



ルーフラインングは内装色に合わせた生地を使用して張り替え済み。細かいポイントにもプロの技が反映される。

SPECIFICATIONS

●エクステリア フロントリップスポイラー 後期タイプ ヘッドライト キドニーグリル塗装 ウィンドーモール塗装 ●インテリア ルーフラインング張り替え ●足まわり サスペンション:純正加工 ●ホイール AGIO(20インチ) ●タイヤ ニットー・INVO(F:245/30、R:285/20)